



令和5年度 福島県 女性活躍・働き方改革促進事業  
働き方改革モデルづくり

株式会社福良梱包

---

# 会社概要

社名	株式会社福良梱包
所在地	福島県福島市庄野字一本柳1-14
設立	昭和48年9月
従業員数	男性 12人 女性 1人
業務内容	ダンボール箱・梱包資材等の販売
経営理念	欲しい商品を欲しい価格でタイムリーに提供



# 取り組みのきっかけと目標

---

1. 恒常的な長時間労働のため、早急に働き方の見直しを行う必要があった。
2. 仕事が属人化しているため特定の従業員に業務が集中していた。
3. 個人プレーで業務を進める傾向があり、協力体制が取りにくい状態であった。

以上のことから、2つの目標に向けて取り組みをスタート

社内連携を強化し、  
全体の情報共有が出来るようにする。

業務の見える化をすることで  
属人化、偏りを解消し残業を削減する

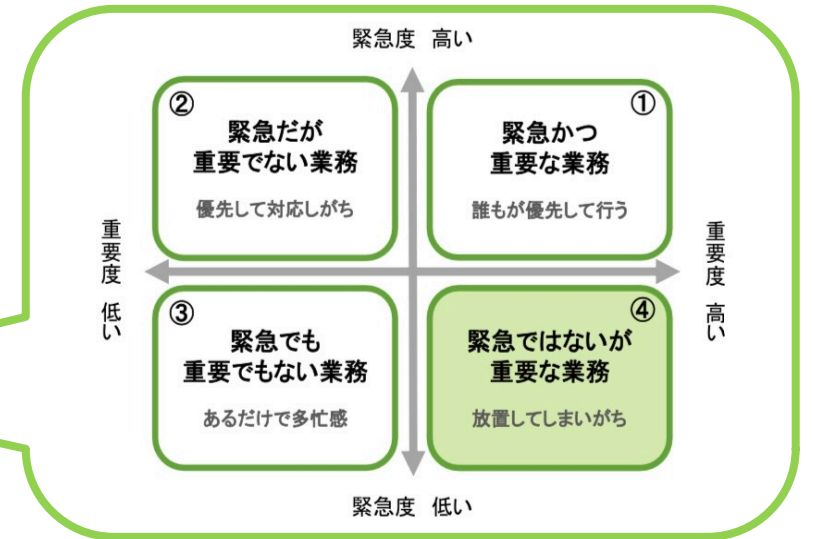
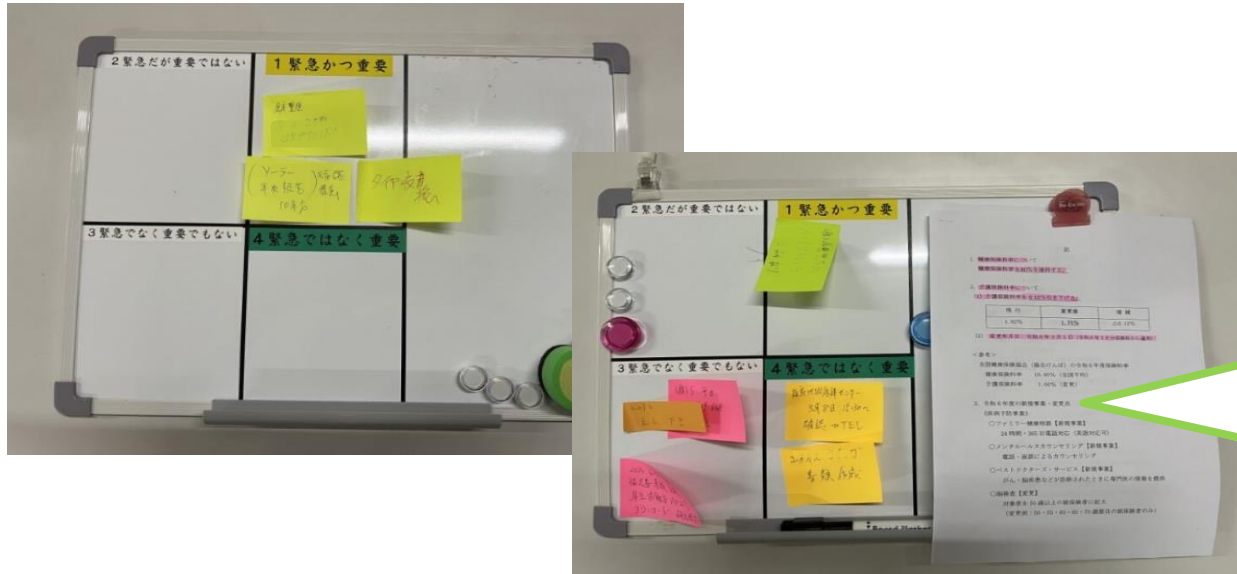
# 取り組み内容

1. 毎日始業のタイミングで1日の業務を書き出し、優先順位とその業務に係る時間見積もりを作成。退社前に「予定通りに進んだか」「実際にかかった時間との差異はあったか」「予定通りにいかなかった理由は何か」等の振り返りを行い、気づいたことを定期ミーティングで共有した。
2. これまでは相手の状況が分からないまま業務の受け渡しがされていたため、受け側が多忙であると長時間労働の原因になっていた。ホワイトボードと付箋紙を活用して業務受渡しに見える化を行い、緊急度や重要度のコンセンサスを図り、互いの状況を把握することをルール化した。



# 取り組み成果

1. 「時間見積りと1日の振り返り」を実施したことでタイムマネジメントの理解が深まり、「残業を減らすことは難しい」という思い込みから、「どうすれば出来るか」という意識へ大きく変化した。
2. 各自がホワイトボードを導入したことで状況が可視化され、互いに繁閑を把握できるようになった。また、業務受渡しを口頭ではなく付箋に書いて渡すようにしたため、漏れや遅れといったミスを回避できるようになった。
3. 取り組み後の大きな変化として、取り組み期間の前年度対比で時間外勤務時間を25%削減できた。  
(取組前40時間/月 ⇒ 取組後30時間/月) \*さらなる削減を目指して継続中！



# 取り組みから感じたこと

## メンバーの感想

日々の業務の見える化が進んだこと、仕事の依頼・結果のフィードバックをルール化できたことで、相当の業務改善ができました。本当にありがとうございました。

## 事務局から

当初は、少しでも勉強になればと申し込みさせていただきましたが、回を重ねるごとに、アドバイス頂いた内容がとても分かりやすく、直ぐに取り組み易い内容だったため、短期間でしたが本気で取り組むことができました。新しい社内文化を構築できました。

## 今後に向けて

今回の機会を、一時のカンフル剤にせず、  
「日々の業務を自分たちで改善する意識を常に持つ文化構築」  
「イメージ忙しいを分析して、本当は忙しくなかったにできる文化構築」  
「個人のファインプレーを無くし、誰もが一定の業務成果を出せる文化構築」の土台にしたいと思います。  
担当コンサルタントの高橋さんとの出会いに心から感謝申し上げます。